

# 令和6年度 公共事業 事後評価

平成30年度完了

道路改築事業

一般国道403号

やごせ  
矢越防災

長野県 建設部





# 事業の概要

## 事業計画時の課題・背景及び事業経緯

- ◆ 一般国道403号は、新潟市から飯山市、千曲市等を経由し松本市に至る第一次緊急輸送道路である。
- ◆ 筑北村～安曇野市間は、線形が悪く、幅員が狭いため、車両の通行に支障をきたしている状況にあった。
- ◆ 特に冬期は、峠付近は急勾配であり、積雪により幅員がさらに狭くなることにより円滑な交通に支障をきたしていた。
- ◆ また、斜面の崩壊、落石等による通行止が度々発生し、地域住民の生活や経済活動に影響を与えていた。
- ◆ これらの課題を解消し、安全で円滑な交通の確保を図るため、平成21年度に事業着手した。

### 【事業実施前の道路状況】



落石状況



旧道トンネルの劣化状況



土砂崩落発生状況



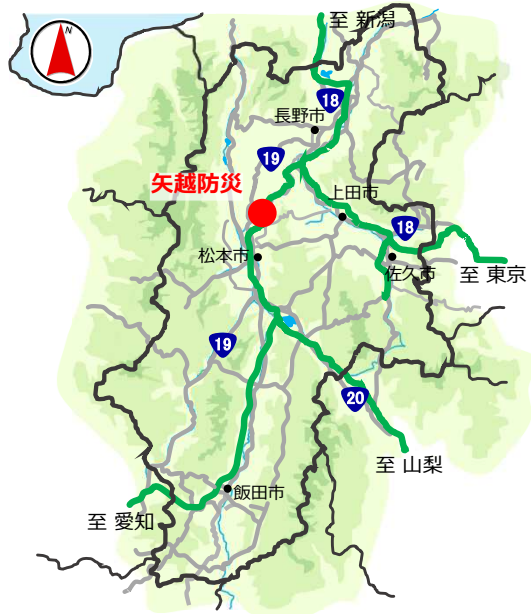
倒木発生状況

## 事業目的

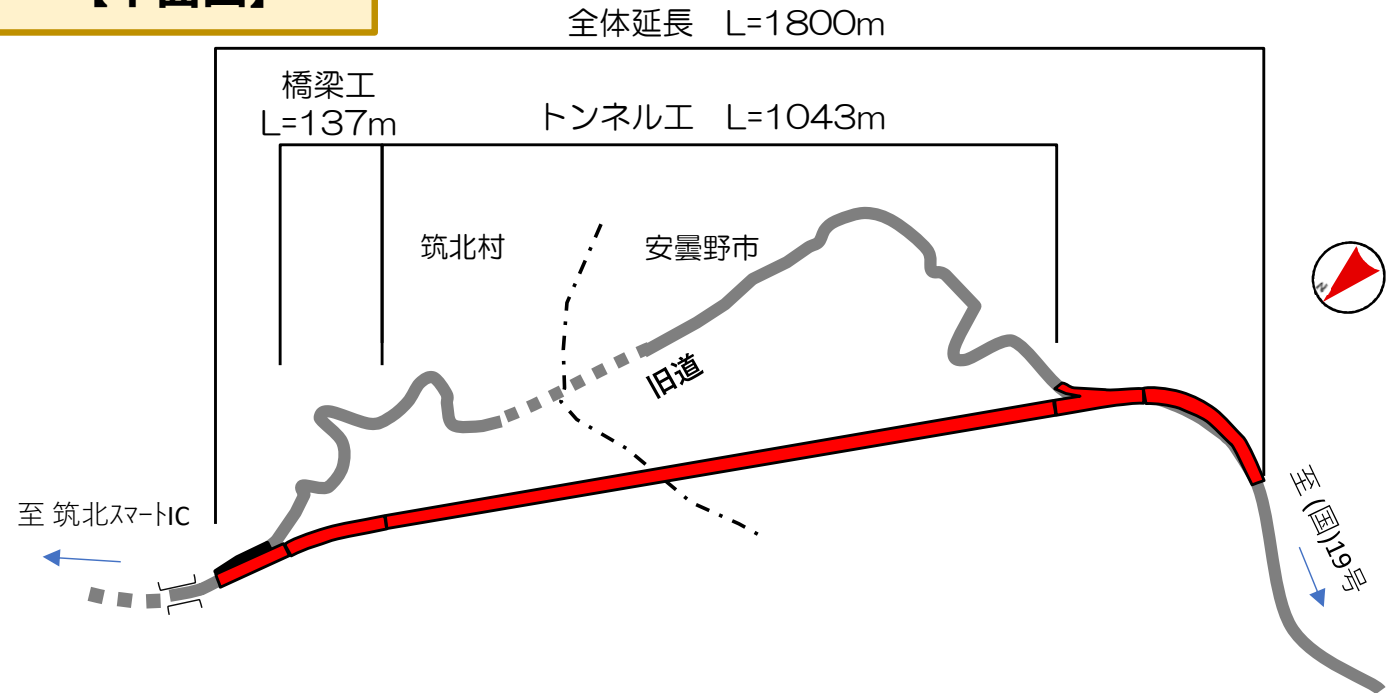
道路線形が悪く幅員の狭隘な区間や、落石危険箇所などを迂回するバイパス整備により、安全で円滑な交通の確保を図ることを目的としている。

# 事業の概要

## 【位置図】



## 【平面図】



## 【全体計画】

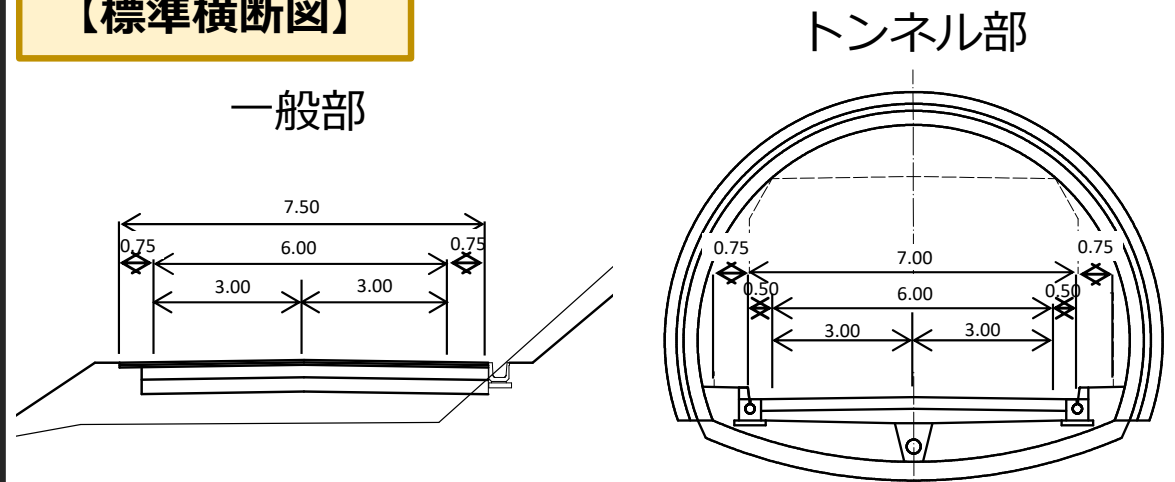
延長 : 1,800m

幅員 : (全幅) 7.5m  
(車道) 6.0m

事業期間 : 平成21年度～平成30年度


全体事業費 : 52億9,052万円

## 【標準横断図】



# 事業概要の変更経緯

## 事業概要の変更経緯

	当初計画 (H21新規評価時)		最終実績 (H30完了時)
事業期間	H21～H28年度		H21～H30年度
総事業費	60億円		52億9,052万円
費用対効果	B/C = 1.3		B/C = 1.5
事業概要	道路築造工 延長 1,800m 幅員 (全幅) 7.5m (車道) 6.0m		道路築造工 延長 1,800m 幅員 (全幅) 7.5m (車道) 6.0m

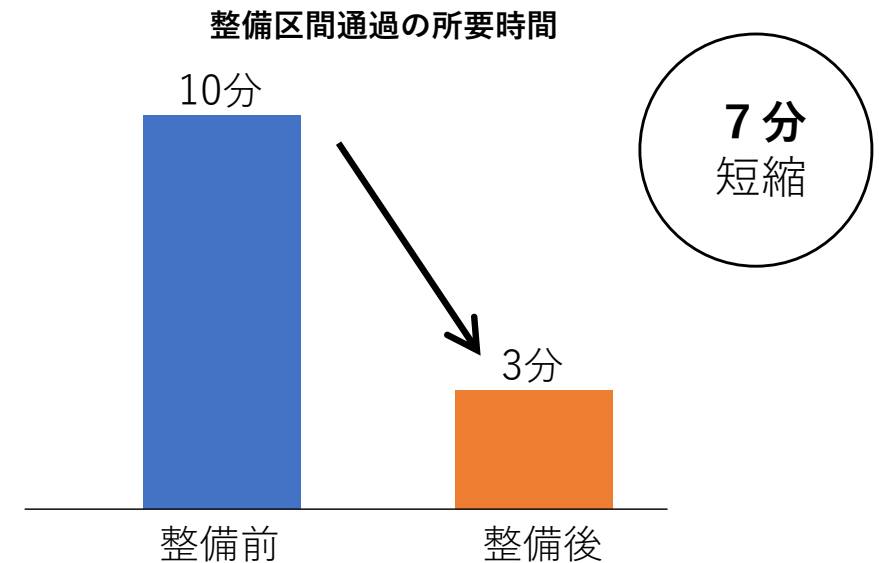
## 変更理由 (事業期間の延長、総事業費の減)

- ◆ トンネル掘削土の一部に自然由来の重金属が含まれていたため処理方法の検討と対応に期間を要し、事業期間が延長となった。
- ◆ トンネル掘削に伴う発生土を近傍の道路築造工事の盛土に活用することにより、コスト縮減を図り、事業費が減となった。

# ① 事業効果の発現状況（直接的効果）

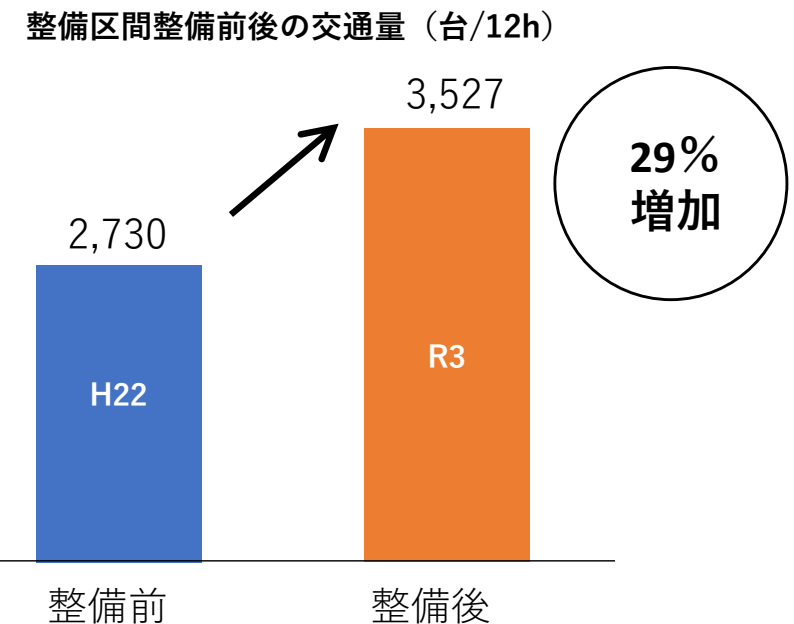
## アクセス性向上

- 整備区間通過時の所要時間が約7分短縮した。



## 交通の利便性向上

- 整備により本路線の利便性が向上し、整備区間整備前後の交通量が約29%増加した。



## 安全性向上

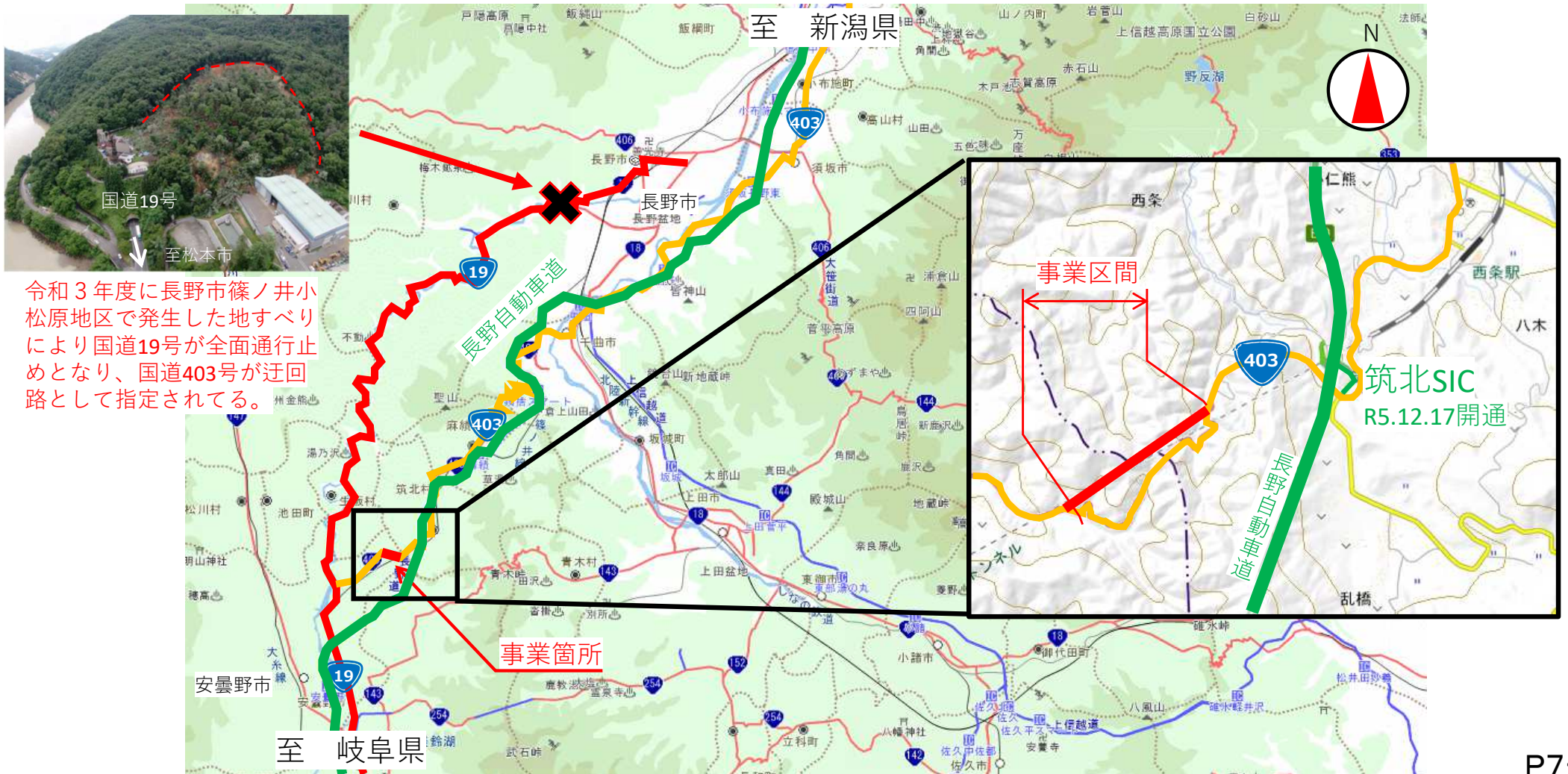
- 安全で円滑な交通が確保され、第一次緊急輸送道路としての確実性向上に寄与した。



# ① 事業効果の発現状況（間接的効果）

## 代替路として効果発揮、筑北SICへのアクセス向上

- 長野自動車道、国道19号の迂回路として効果を発揮している。
- 地元住民の通勤路として活用され経済活動の活性化に寄与している。
- 令和5年度に開通した筑北SICへのアクセス道路として活用されている。





## ② 事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化

- トンネル及び橋梁により自然改変面積を極力減らし、トンネル発生土も他工事の材料として活用する等、環境負荷を軽減している。
- 沿線上の、守るべき風景が健全に保たれている
- 道路改築により幹線道路としての快適性・安全性が確保されたとともに、荒天時・冬期間の交通が安定的に確保されたことで、生活環境が大幅に改善された

### 自然環境、景観の保全



自然豊かな溪谷の  
景観を保全



地形の改変を  
最小限にした整備

### 道路整備による生活環境の改善



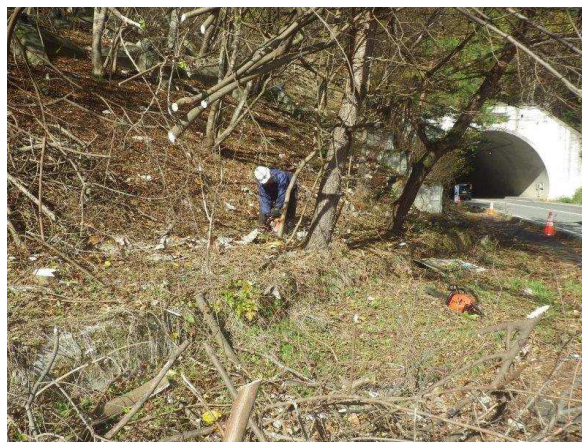
安全で円滑な交通の確保

### ③ 施設の維持管理状況

- 道路パトロールを毎週1回行っており、良好な状態の確保に努めている。
- 年1回、交通安全環境施設協会が主体となり、地域の業者による道路標識・反射鏡の清掃ボランティアが行われている。
- 山間地のため、枝の繁茂による視界不良、倒木の危険性のある立木の伐採等を行っている。
- 道路の線形改良により見通しが良くなり、また拡幅されたことにより通行を確保したままの除雪が可能となったため、冬期間の道路の安全性、速達性が向上した。



道路パトロール



支障木の伐採



除草作業



## ④ 地域住民等の評価

- ◆ 新矢越トンネルが開通したおかげで、筑北村から安曇野方面への交通の便が大幅に向上したと感じます。  
【本城地区会社員（女性）】
- ◆ 旧トンネルは幅員も狭く車のすれ違いにストレスを感じていましたが、新トンネルが開通したことで、安心安全に通行できるようになりました。また松本・安曇野方面への所要時間も短縮され大変便利になりました。  
【坂北地区会社員（男性）】
- ◆ 通勤で毎日利用していますが、以前より時短になり、すれ違いに気を遣うことなく通行できるようになりとても感謝しています。  
【坂北地区会社員（男性）】
- ◆ 通院にほぼ2日に1度ここを通りますが、以前は幅員も狭く急カーブや勾配もきつく、特に冬期は非常に危険な峠で運転するには大変気を使う必要がありましたが、バイパスの開通により危険な箇所が無くなり安心して通行できることと、時間が短縮されたことにとても感謝しています。  
【本城地区住民（男性）】
- ◆ 松本・安曇野方面へ買い物等に行くのに時間が短縮され、峠道も無くなり安心して運転ができるようになった。  
【本城地区主婦（女性）】
- ◆ トンネルが開通したおかげで危険が少なくなり、通行が楽になりました。  
【筑北村役場職員】
- ◆ 早く通過が出来るようになって良かった。特に冬場は安心して通行できます。  
【坂井地区会社員（男性）】



# 事後評価結果

## 総合評価

評価項目	評価	評点	評価指標
① 事業効果の発現状況（直接的効果、間接的効果）	A	70点	A：目的を超えた達成【70点】 B：目的を達成【55点】 C：目的を概ね達成【40点】
② 事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化	A	10点	A：計画時よりも環境がよくなった【10点】 B：大きな影響なし【5点】 C：影響が大きい【0点】
③ 施設の維持管理状況	A	5点	A：地域の人たちも参加し適切に実施【10点】 B：施設管理者が適切に実施【5点】 C：やや不十分【0点】 D：不適切【0点】
④ 地域住民等の評価	A	10点	A：評価が高い【10点】 B：中程度の評価【5点】 C：評価が低い【0点】
<b>総合評価</b>	<b>A</b>	<b>95点</b>	<b>A：75点以上 C：49点以下</b> <b>B：74点～50点</b>

## 改善措置の必要性

特になし

## 今後の取組及び同種事業への活用と課題

本事業では本工事と同時進行で要対策土の活用方法を行ったが、今後の取組として事業の初期段階で処理方法や水質の監視方法等について具体的な検討を行うことが望ましい。



# 事後評価結果

## 【建設部公共事業評価委員会の意見】

道路整備により、安全で円滑な交通の確保など一定の効果があり、長野自動車道や国道19号の迂回路として効果を発揮していることから、事業の目的を達成しており、地元住民からの評価も高いことから総合評価Aが妥当と判断する。

## 【長野県公共事業評価委員会の意見】

建設部公共事業評価委員会の意見を妥当と判断する。

県の評価案	A	評価監視委員会意見	妥当	評価の決定	A
-------	---	-----------	----	-------	---